

今後、求められる 金沢の学校教育のあり方

新学習指導要領がめざすもの

「生きる力」をはぐくむこと

知・徳・体のバランスのとれた力

知 確かな学力のもと、創造力を身につけ、問題解決に立ち向かう力を育成する

徳 人とのつながりを大切にし、他を思いやるなど豊かな人間性を養う

体 自らの健康を考え、たくましく生きるための体力を育成する

絆

新学習指導要領に対応した 第2次学校教育金沢モデル

平成21年度から3回にわたり構築戦略会議を開催し、各分野の専門的見地でのご意見をもとに、金沢の教育が目指すべき方向性の示唆をいただき、第2次学校教育金沢モデルを構築しました。そして、同時に実践本部会議を開催し、構築戦略会議の示唆を受けながら、学校や家庭・地域・行政等の実態を踏まえつつ、金沢「絆」教育をはじめとする第2次学校教育金沢モデルの具現化を図るとともに、具体的な教育活動を協議してまいりました。

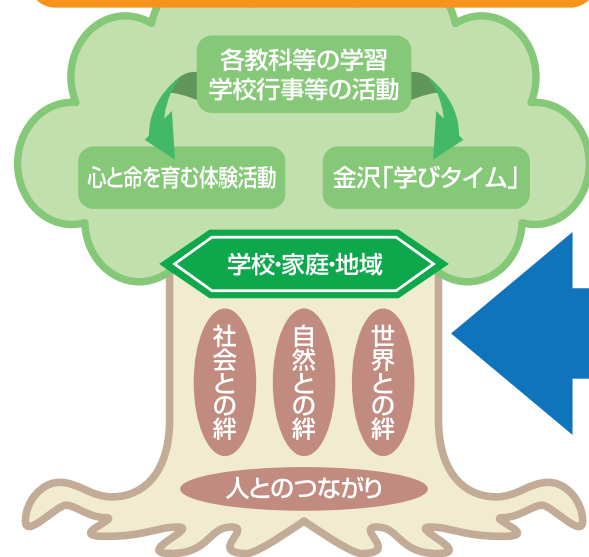
そして、実践本部からの6名の先生方に加え総勢22名の教職員の方々によるワーキンググループを立ち上げ、「金沢の子どもたちに学ばせたいことは何か」を視点に学習内容を洗い出し、検討を重ね、「金沢」を学ぶ時間、金沢「学びタイム」を設定し、その指導資料集の完成にいたりしました。

平成23年度より総合的な学習の時間を中心に各小・中学校で実践し、金沢に生まれ育った児童生徒が金沢のことを知り、考え、将来の自己の生き方につなげて欲しいと考えています。



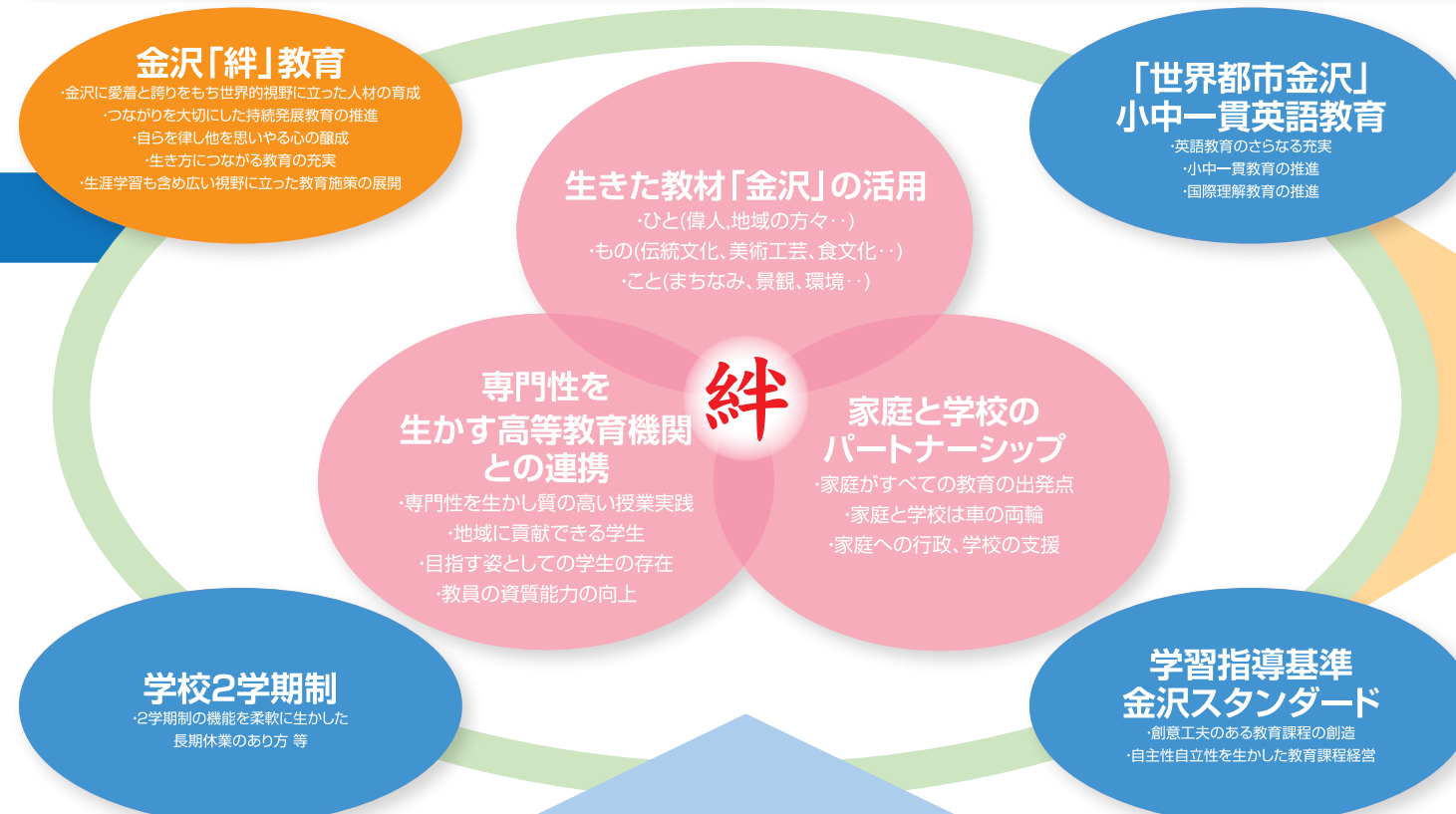
全市児童生徒あいさつの日

金沢「絆」教育の基本的考え方



人と人とのつながりを基盤とし、社会・自然・世界などとの関わりを深め、自他を共に認め合い、命あるものを大切にする豊かな心を育むとともに、金沢に誇りをもつ子どもを育成することを目的に、平成21年度よりこれまでの3つの柱に加え、取り組んでいます。

「絆」の考え方を基軸にした金沢の学校教育 ~第2次学校教育金沢モデルの推進~



世界に飛ばたく社会の担い手へ

今後の教育で大切なこと

豊かな読書・体験活動の充実

読書は、感性を磨き創造力を豊かにするものであり、自然体験や社会体験は、子どもの成長に重要な影響を与える。そこで、学校図書館等の読書施設を活用した活動や身近な環境を生かした体験を学校教育の中で行うことが大切である。



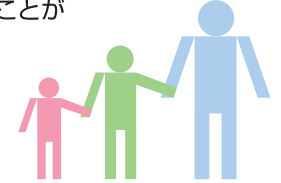
コミュニケーション能力の育成

社会性を育む基礎となるのは、人と人との関わりであり、そのためのコミュニケーションは欠かせないものである。各教科等の学習を通して言語活動の充実を図るとともに、豊かな体験や読書活動等を通してコミュニケーション能力が育成されることが大切である。



幼保・小・中の連携

今までの小中連携の視点に加えて、子どもの発達の段階や学びの連続性を考えると、幼児期の教育の重要性が増している。そこで、幼児教育の一体化に向けた国の動きを注視しながら、金沢市教育プラザ富樫がその機能を発揮し、幼保・小、小・中の接続が滑らかになるよう、取組の充実を図ることが大切である。



健康と体力の増進

金沢市においては、「健康教育推進プラン(第2次)」が策定されており、ヘルスプロモーションの考えのもと、自らの健康づくりや体力づくりを実践できる子どもを目指している。教科学習での体力向上を図るだけでなく、家庭における取組と連動しながら健康と体力の増進を図ることが大切である。



家庭の教育力の充実

家庭でのしつけや子育てについて悩んでいる保護者も少なくない。そこで、本来、家庭が担うべき役割について、行政・学校・地域・企業が連携・協力し、それぞれの家庭が果たすべき役割を担うことが大切である。



生きた教材「金沢」の活用

金沢には、恵まれた自然とそれに調和するまちなみ・景観が残され、まち全体が歴史と文化を重ね合わせた独特の魅力を放っています。このような自然や伝統文化など、金沢の「もの、ひと、こと」を活用し、それらとの繋がりの中で、豊かな学びが展開されることを期待します。

- ◆金沢「学びタイム」の実践
- ◆偉人に学ぶ
- ◆金沢「絆」教育の推進
- ◆金沢ユネスコスクール推進事業



金沢「学びタイム」指導資料

家庭と学校のパートナーシップ

学校は、地域のコミュニティの拠点として、家庭・地域が協力して子どもたちの成長を目指して取り組んできています。今後は、家庭と学校が子どもの成長を支える両輪であり、パートナーであることを互いに再確認し、その上で、行政と学校がともに家庭を支援し、学校が取り組む教育活動を支えるものとなる家庭の教育力の向上が図られることを期待します。

- ◆家庭と学校のパートナーシップ事業
- ◆金沢「絆」教育推進事業
- ◆「絆」シンポジウム開催

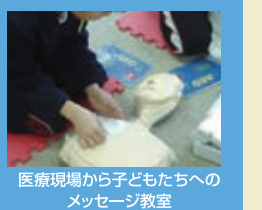


「絆」シンポジウム

専門性を生かした 高等教育機関との連携

金沢市とその周辺市町には、多くの高等教育機関があり、複数の大学と連携協定を結んでいます。その結果、施設の利用や人材の協力・連携が十分に可能であり、互いの連携の良さを享受し、高め合うことを期待します。

- ◆英語交流プロジェクト事業
- ◆芸術教育支援員活用事業
- ◆医療現場から子どもたちへのメッセージ教室
- ◆連携型健康教育実践校の指定



医療現場から子どもたちへのメッセージ教室